

バイオマス専焼発電への取り組み

バイオマス燃料の 乾燥が発電性能の 向上に直結します。

(株)中部プラントサービス
多気バイオパワー(三重県多気郡) 発電出力6,700kW



背景・目的

- 当社では剪定枝葉や流木など木質系の廃棄物が毎年相当量発生しています。これらは、水分が多いので、燃料としては燃えにくく、また貯蔵時の腐朽も問題となります。そこでバイオマス発電所の排熱を有効かつ簡易に利用して、高水分な木質系バイオマスを乾燥させる技術の開発をしています。

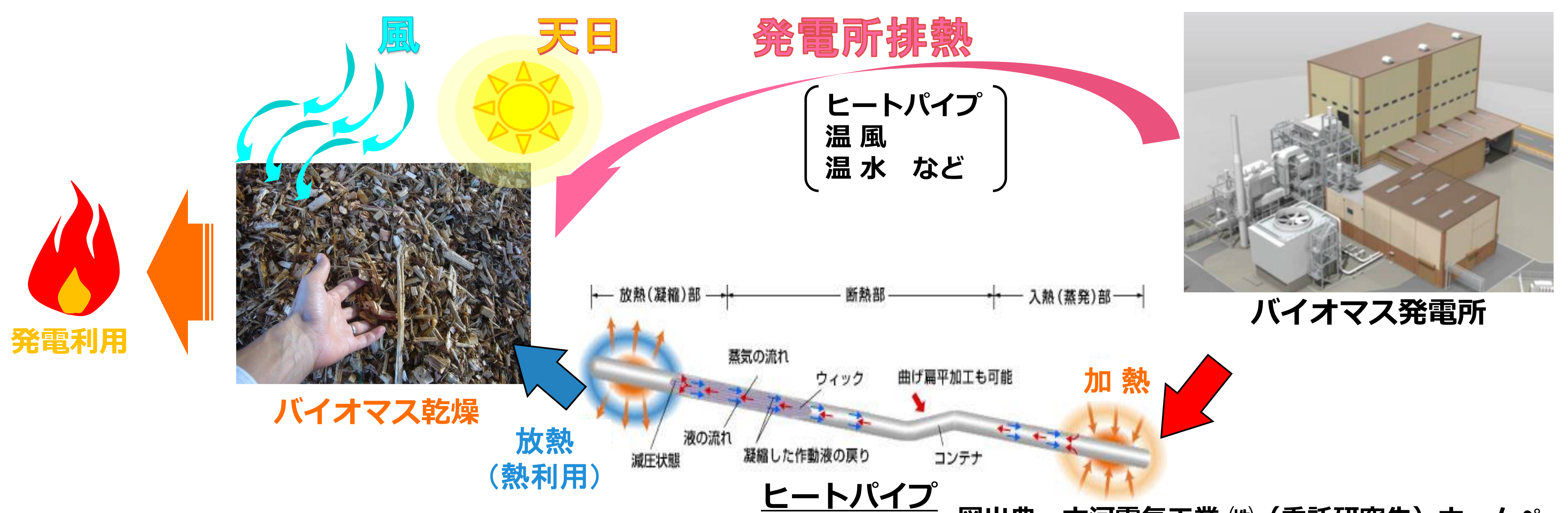


特長

- バイオマス発電所排熱の有効利用により、エネルギー利用効率が向上
- ヒートパイプなどを用いた排熱回収方式の効率化
- 燃焼性の悪い高水分バイオマスの利用拡大により、再エネ促進に貢献

用途

- バイオマス発電性能の向上技術
- バイオマス燃料の利用拡大
- 木質系廃棄物排出量の削減



開発者の
ひとこと

バイオマス発電所の事業性を向上させるべく、消費エネルギーを極力小さく、かつ設備費もかからない乾燥技術が前提となりますので、それらを両立させる技術の実現に向けて努力しています。